

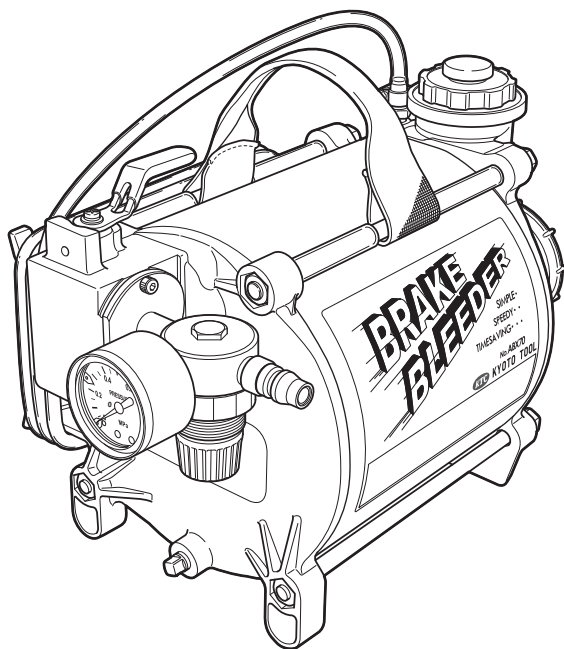
このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

KTC

ブレーキブリーダー No.ABX70

取扱説明書

業務用



このたびは ABX70 ブレーキブリーダーをお買い上げいただきありがとうございます。
ブレーキブリーダーをより安全・適切にお使いいただくため、この取扱説明書をお読みください。
取扱説明書及び、表示の注意事項や使用方法は、十分理解した上で、正しくお使いください。
なお、この取扱説明書は、お手元に大切に保管してください。

本製品は自動車のブレーキ液の圧送を行う専用機器です。
本製品はコンプレッサの圧縮エアを利用して駆動する機器です。

KYOTO TOOL CO.,LTD.

この取扱説明書には以下のシグナルワードとその他標記記号を使用しています。



誤った取り扱いをした場合、
死亡または重傷を負うおそれがあります。



誤った取り扱いをした場合、
負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。



禁止行為を表します。



必ずしてほしい行為を表します。



確認してほしい行為を表します。

目次

各部名称.....	2
特長.....	3
入組内容.....	3
仕様.....	3
適応.....	3
使用上のご注意.....	4
使用方法.....	7
• ブレーキ液の注入.....	7
• アタッチメントの選択.....	8
• アタッチメント適応サイズ.....	8
• リザーバタンクへのアタッチメントの取り付け.....	9
A1.....	9
A2.....	11
B1またはB2+D1.....	13
B1またはB2+E1.....	15
• 作業方法.....	17
• 残量表示.....	19
• ブレーキ液の補充.....	20
保守・保管方法.....	21
補給部品.....	21
アタッチメント適用表.....	22

特長

1. 連続圧送で作業時間を短縮できます。
2. 10個（オプション含む）のアタッチメントで多くの車種に対応しています。
3. 操作の簡単なエア駆動式圧送タイプです。
4. ワンタッチ取り付けが可能なプレートゴムを採用しています。（アタッチメント A1）
5. 内圧式拡張ゴムにより優れた密着性があります。（アタッチメント A2、B1、B2）
6. タンク内のエア抜きがワンプッシュでできます。

入組内容

本体	1台
アタッチメント A1,A2,B1,B2	各1個
クランプ D1,E1	各1個
アタッチメント収納ケース	1個
取扱説明書	1冊

仕様

外寸	320x205x210mm
圧送ホース長	3.5 m
タンク容量	2 L
残量表示目盛り	0.2 L（一目盛り）
重量（本体）	6 kg
入力エア圧力	0.5 ~ 1.0 MPa（5 ~ 10 kgf/cm ² ）
使用圧力	0.15 ~ 0.25 MPa（1.5 ~ 2.5 kgf/cm ² ）
適合エアカプラ	R1/4 日東工器 20PM 相当品

適応








適用車種は適用表（P22 ~ P26）を参考にしてください。

※ 作業前に対象となるリザーバタンクの内径、形状、マスタシリンダ周りの状況などを確認してください。









- リザーバタンク内径がφ 18~76であること。
- リザーバタンクの給入口が円筒形であること。
- リザーバタンクの給入口より上側のスペースが100mm以上あること。
- リザーバタンクの側面のスペースが10mm以上あること。
- リザーバタンクの給入口内に端面から下側にスペースが15mm以上あること。（A2,B1,B2）






使用上のご注意

当社製品に共通する安全上のご注意

 警告 死亡または重傷を負うおそれがあります。	
	製品本来の使用用途以外には使用しない
	分解および改造しない
	外観上の異常や動作異常が認められた場合は使用しない
	無理な姿勢で使用しない
	安全に責任を追う監督者がいない状況で、子供など補助を必要とする人を作業場に近づけたり、触れさせたりしない
	子供の手の触れるところで保管しない

本製品に関する安全上のご注意

 警告 死亡または重傷を負うおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損傷
	火気がある場所や熱源の近くで使用・保管しない。	ブレーキ液の温度が高くなると、火災が発生し、重傷を負うおそれがある。
	ブレーキ液に接触したり、こぼしたりしない。	口や目に入った場合は、失明など重傷を負うおそれがあるため、医師の診察を受けること。また、人体にかかると、肌が炎症するおそれがある。
	取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく使用する。	製品について理解しないまま使用すると、思わぬ負傷や事故、製品や作業対象物の損傷の原因となる。
	有資格者（自動車整備士またはそれに準じた資格修得者）が使用する。	自動車整備に関する十分な知識がない場合、思わぬ負傷や事故が発生するおそれがある。
	ブレーキ液の交換作業は、各自動車メーカーの整備指示書などにに基づき正しく作業を行う。	正しく作業をしないと、思わぬ負傷や事故が発生するおそれがある。
	各自動車メーカー指定のブレーキ液を使用する。また、ブレーキ液の取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく使用する。	各自動車メーカー指定のブレーキ液を使用しないと、ブレーキ液を交換した車を使用したときに、思わぬ事故が発生するおそれがある。
	安全のため、保護めがね等を着用して作業する。	保護めがね等を着用しない場合は、ブレーキ液が目に入るおそれがある。目に入った場合は、失明など重傷を負うおそれがあるため、医師の診察を受けること。

 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。		
標記記号	事項	危害・損傷
	製品に、落とすなどの衝撃を加えたり、外圧を加えない。	負傷や事故の原因となる。また、落下すると製品や作業対象物の損傷や作動不良の原因となる。
	不安定な場所で使用しない。	製品が倒れ、負傷や事故の原因となる。また、製品や作業対象物の損傷や作動不良の原因となる。
	入力エア圧は1.0 MPa (10 kgf/cm ²) 以下を守る。	入力エア圧が高すぎると、圧送ホースから勢いよくブレーキ液が放出されたり、圧送ホースの取り付け部が圧迫されて外れるおそれがある。放出されたブレーキ液が人体にかけると、肌が炎症するおそれがある。
	圧送作業中に圧力計が0.3 MPa (3 kgf/cm ²) 以上になった場合は、使用を中止する。	ブレーキ液の送圧が強くなりすぎ、勢いよくブレーキ液が放出されるおそれがある。放出されたブレーキ液が人体にかけると、肌が炎症するおそれがある。

取り扱い上のご注意

これらを守らないと、製品や作業対象物の損傷や作動不良の原因となります。また、製品が本来の機能を発揮できなくなるおそれがあります。

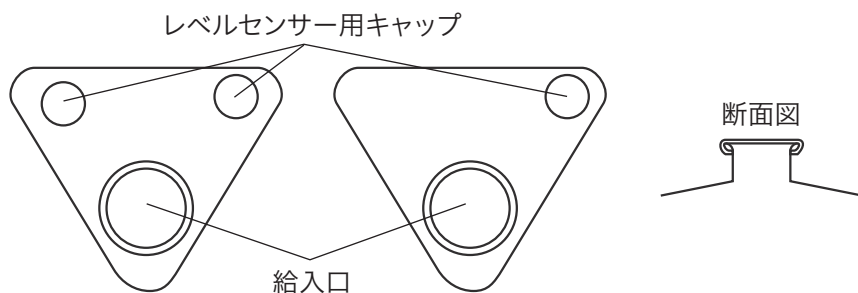
- ・ 適用外の対象物、仕様範囲外の部位では使用しないでください。
- ・ 高温・直射日光下では使用しないでください。
- ・ 製品または作業対象部位に亀裂、変形などの異常が認められる場合は使用しないでください。
- ・ 製品に仕様範囲外の荷重を掛けないでください。
- ・ アタッチメントをリザーバタンクに確実に取り付けてください。アタッチメントが斜めになっていたり、しっかりと取り付けられていない状態では作業しないでください。
- ・ 製品に化学薬品、海水、水分などを付着させないでください。
- ・ リザーバタンクへ取り付け後のアタッチメントには、外圧を加えないでください。
- ・ 適切な調整が行われているため、製品のレギュレータには触れないでください。
- ・ 圧送ホースを強く引っ張らないでください。
- ・ 劣化した圧送ホースを使用しないでください。
- ・ 圧送ホースを折り曲げた状態で使用しないでください。
- ・ 圧送ホースを持って製品を引きずらないでください。
- ・ 各部の取り付けボルトおよびナットに緩みが無いことを確認したうえで使用してください。
- ・ 保守・保管方法は取扱説明書のとおりを実施してください。
- ・ 製品のメンテナンスや各部の交換は、取扱説明書を十分確認のうえ実施してください。
- ・ 製品各部の取り外し、取り替えは本体タンク内の残圧を開放（操作レバー位置：排気）してから作業を行ってください。製品の内圧が高い場合、製品に残っているブレーキ液などが勢いよく飛び出すおそれがあります。
- ・ 圧送作業中にブレーキ液が漏れた場合は、直ちに操作レバーを排気に切り替え、作業を中止してください。そのまま使用し続けると、ブレーキ液があふれ出すおそれがあります。

- ・ 環境温度は5～40°Cで使用してください。
- ・ 保管時は、操作レバー位置を中立にしてください。操作レバー位置を排気または圧送で放置すると、製品に残っているブレーキ液が漏れ出すおそれがあります。また、バルブの故障や破損の原因となります。
- ・ 補修部品はKTC純正品を使用してください。

アタッチメント使用時のご注意

アタッチメントを使用する際は、下記の点にご注意ください。製品や作業対象物の損傷や作動不良の原因となります。

- ・ リザーバタンクに劣化が見られる場合は、使用しないでください。
- ・ リザーバタンクは樹脂製です。経年変化などで内径が丸から多少変形している場合があるため、アタッチメントを取り付ける際は注意してください。また、リザーバタンクが明らかに劣化している場合は、使用しないでください。
- ・ 給入口に適合しない場合は、使用しないでください。
- ・ 給入口付近にレベルセンサー用キャップなど、別の開孔口が付いている車種には使用しないでください（給入口から加圧すると、レベルセンサー用キャップ等からブレーキ液が漏れる原因となります）。



ABS、 hidroユニット装着車に使用する場合のご注意

本製品は、ABS、 hidroユニット装着車にも使用できますが、以下の点に注意してください。

- ・ ABS装着車の場合：ABSのコンピューターが自己診断で作動することがあり、アクチュエーターにエアを吸い込むおそれがあるため、各自動車メーカーの整備指示書に基づいて作業してください。
- ・ hidroユニット、油圧ブースター装着車の場合：装置単体でエア抜きが必要な場合があるため、各自動車メーカーの整備指示書に基づいて作業してください。
- ・ ハイブリッド車、スマートアシスト付車は、車両側の構造によりブリーダープラグからの吐出量が異なる場合があるため、整備士指示書に基づいて作業してください。

使用方法

ブレーキ液の注入

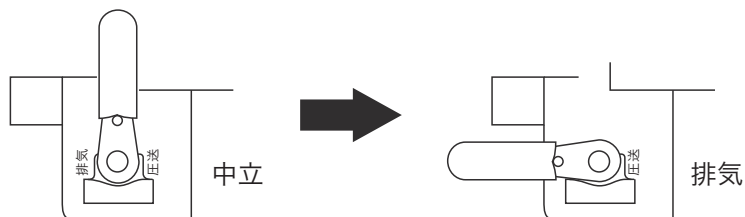
全容量を入れる場合(最大2L)

※全容量以下の場合には注入方法が異なります。(P20を参照してください。)

1. 操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けて、ブレーキ液を注入します。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

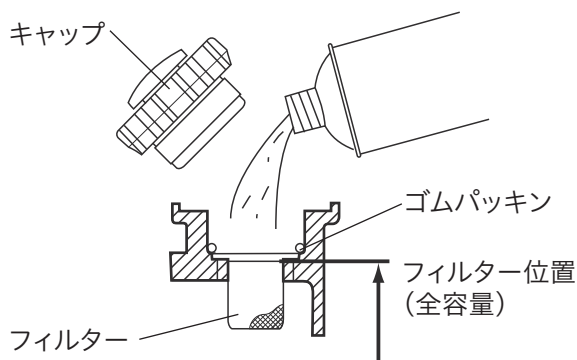
- ❗ ・ 水平な場所で注入を行ってください。
- ⊘ ・ タンク内にゴミ、ホコリ、水等が入らないよう注意してください。
- ⊘ ・ 圧力低下の原因となりますので、ゴムパッキンに傷をつけないでください。



2. タンク内フィルターの位置まで注入しますと、全容量2Lとなります。ブレーキ液を注入し終わりましたら、キャップをロック位置まで回してください。キャップを締めた後、操作レバーを中立に切り替えてください。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ ・ タンクへの注入終了後、操作レバーを排気で放置されますと、バルブの故障や破損の原因となることがあります。



アタッチメントの選択

※リザーバタンクツバ部は、大きく分けて3タイプ5種類あり、それぞれ適切な取り付けを行ってください。

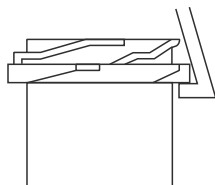
アタッチメントはリザーバタンク及びツバ部の形状、給入口の内径、マスタシリンダ周りの状況等により、適用表を参考に選定してください。

アタッチメント取り付け時の詳細な注意事項は、P6、P22を参照してください。

1. フランジタイプ(3種類)

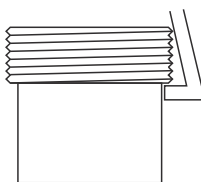


2. つめタイプ



3. ねじタイプ

※ B系 + D1 も使用できますが
B系 + E1 の使用をお勧めします。



アタッチメント適応サイズ

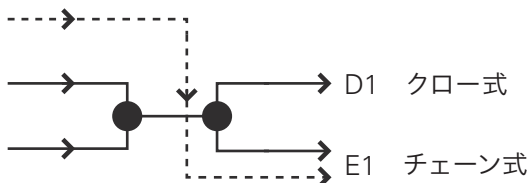
・ A1 $\phi 18 \sim 31$

・ A2 $\phi 32 \sim 45$

※ A2はE1を併用することもできます。

・ B1 $\phi 46 \sim 60$

・ B2 $\phi 61 \sim 76$



リザーバタンクへのアタッチメントの取り付け

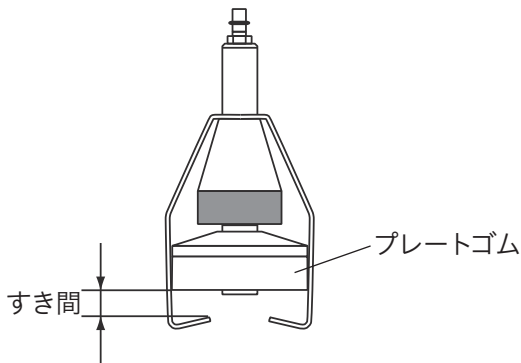
アタッチメントはリザーバタンク及びツバ部の形状、給入口の内径マスタシリンダ周りの状況等により、適用表を参考に選定してください。

! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❶ ・リザーバタンク内のフィルターは必ず取外してから、アタッチメントを取り付けてください。
- ❷ ・リザーバタンクに取り付け後、アタッチメントには外力を加えないでください。リザーバタンクを破損したり、ブレーキ液漏れを起こすおそれがあります。

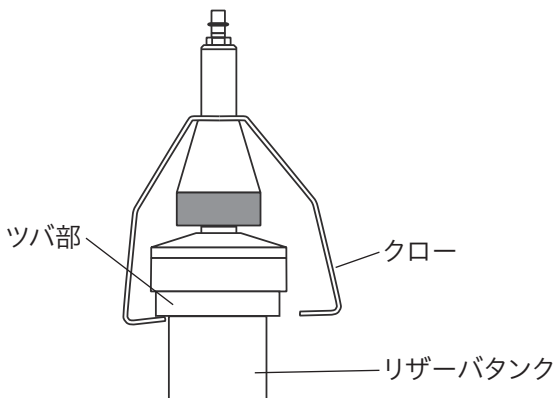
アタッチメントA1使用方法

1. クローとプレートゴムとの間に十分なすき間ができるように、ロックナットを時計方向に回し、調整します。



2. リザーバタンクのキャップを取外してください。

左右のクローを指で押し広げ、リザーバタンクの上からかぶせ、ツバ部に左右均等にクローを引っ掛けます。

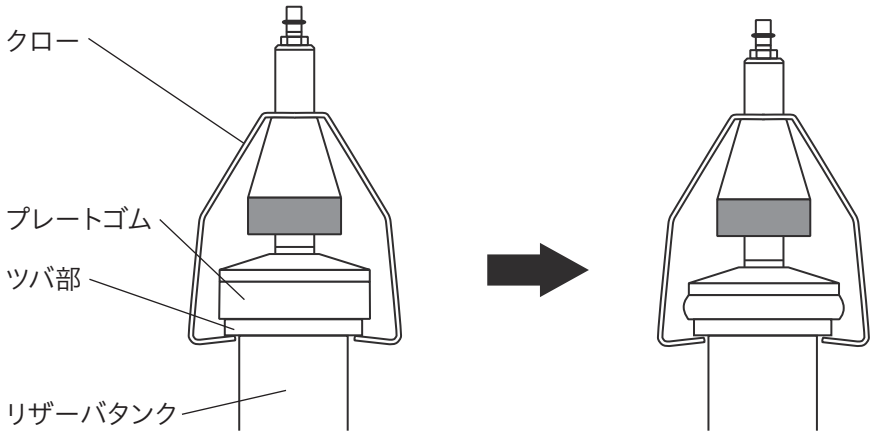


3. プレートゴムがリザーバタンク給入口の中心に来るようにあてがい、ロックナットを反時計方向に回し、プレートゴムとクローでリザーバタンクに固定します。クローがツバ部に当たってから、ロックナットを3回転程回し、十分にプレートゴムをリザーバタンクに押しあてつけてください。



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ⊘ ・取り付け後、プレートゴムがリザーバタンク給入口の中心にあるか確認してください。
- ❗ ・リザーバタンクツバ部の形状により、クローの掛ける位置が異なりますので注意してください。(P8を参照してください。)
- ❗ ・ロックナットの締め付けが不十分ですと、ブレーキ液漏れを起こすおそれがあります。



アタッチメントA2使用方法

1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。
リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、拡張ゴムを膨らませてください。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

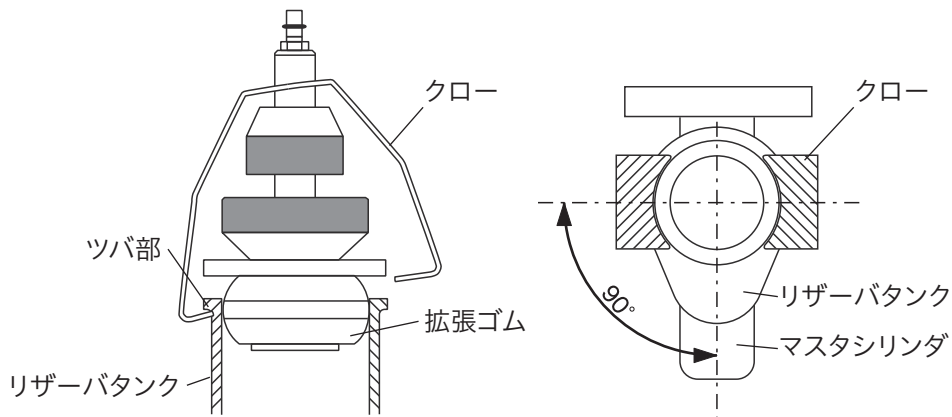
- ⊘ ・ 拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。
左右のクローを指で押し広げ、マスタシリンダボディとクローの向きが直角になるようリザーバタンクの上からかぶせ、ツバ部に左右均等にひっかけます。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ⊘ ・ リザーバタンクツバ部の形状により、クローの掛ける位置が異なりますので注意してください。(P8を参照してください。)

<クローの掛け方と掛ける位置>



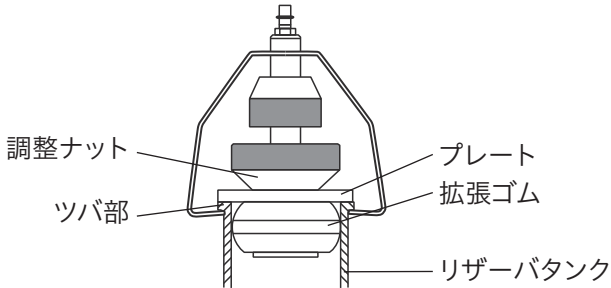
3. プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。



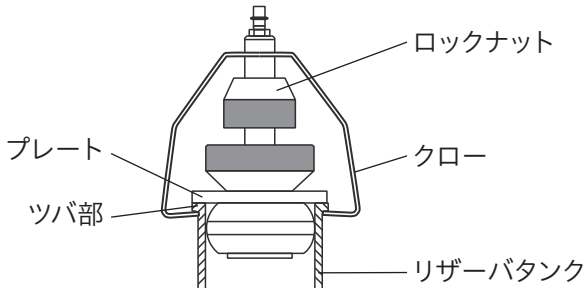
注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。



- ・ブレーキ液があふれ出したり、プラグカプラから吹き出すおそれがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカプラ上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。

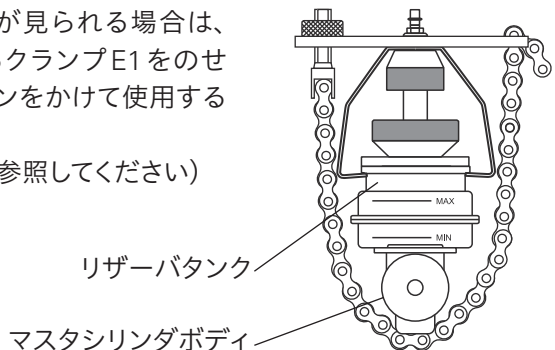


4. ロックナットを反時計回りに回してください。プレートがツバ部に当たってから1回転程度回しプレートとクローでリザーバタンクに固定します。



リザーバタンクに劣化、変形が見られる場合は、A2を取り付けた後に、上からクランプE1のをせマスタシリンダボディにチェーンをかけて使用することをお勧めします。

(※ E1の取り付け方は、P16を参照してください)



アタッチメントB1及びB2+クランプD1使用方法

※B1又はB2の上にD1をのせて使用します。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ ・ マスタシリンダボディとリザーバタンクをホースバンドで固定している車種（ホンダ、ダイハツ）は加圧によりリザーバタンクが外れるおそれがありますので、ホースバンドの締め付けを確認してから作業を行い、E1が使用できる車種は、E1を使用してください。

1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。
リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、拡張ゴムを膨らませてください。

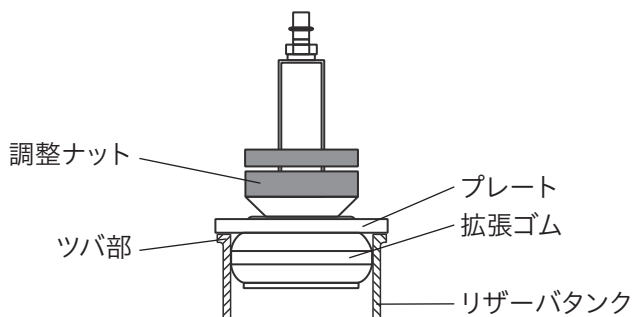
⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ⊘ ・ 拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。

⚠ 注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ ・ ブレーキ液があふれ出したり、プラグカバーから吹き出すおそれがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカバー上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。



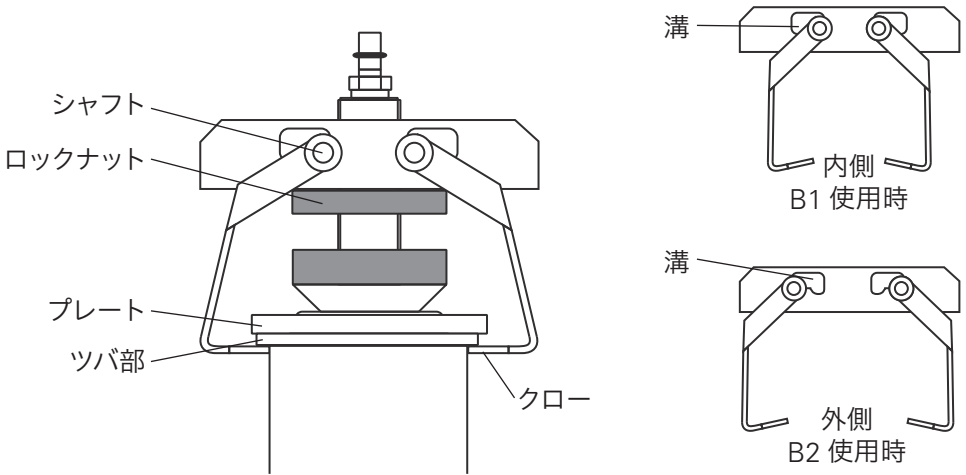
3. クランプD1をマスタシリンダボディとクローの向きが直角になるよう、B1またはB2のロックナットの上のせ、シャフトをB1は内側、B2は外側の溝にはめ、クローを左右均等にしツバ部に引っ掛けます。
 ロックナットをロックするまで反時計回りに回し、プレートとクローでリザーバタンクに固定します。



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

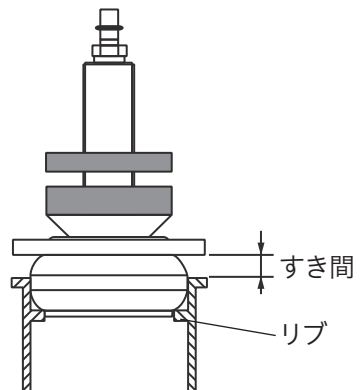


- ・ クランプD1のシャフトは必ず左右同じ溝にはめてください。(下図参照)
 左右違う溝にはめて取り付けられた場合、ブレーキ液漏れを起こすおそれがあります。



トヨタ車でリザーバタンク内にストレーナー受けのリップが上部にあり、拡張ゴムが押し込めない車種については以下の方法で取り付けてください。

1. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口の内径近くまで膨らむよう調整ナットを時計回りに回してください。
2. 拡張ゴムがリップに当たるまで挿入し、調整ナットをロックするまで回します。この時プレートとツバ部にすき間がありますが問題ありません。
3. クローを左右均等にツバ部に引っかけ、プレートとツバ部が当たるまでロックナットを反時計回りに回してください。



アタッチメントB1及びB2+クランプE1使用方法

※B1又はB2の上にE1をのせて使用します。

B1、B2の取り付け方法はB1又はB2+D1と同じです。

! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- !** ・ マスタシリンダボディにリザーバタンクがオフセットして取り付けられている車種（三菱等）は、クランプD1を使用してください。

1. リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取り外してください。

リザーバタンク給入口の内径近くまで調整ナットを時計回りに回し、拡張ゴムを膨らませてください。

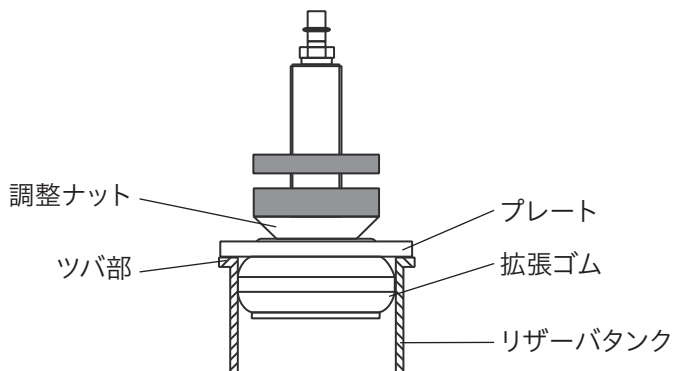
! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- !** ・ 拡張ゴムを膨らまさないでリザーバタンクに取り付けた場合、セパレーター等に干渉して正常な使用ができない場合があります。

2. 拡張ゴムをリザーバタンク給入口に軽く押し込みます。プレートがツバ部に当たるまで押し込み、プレートを押さえながら調整ナットがロックするまで時計回りに回し、拡張ゴムをリザーバタンク給入口内径に密着させ固定します。

! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- !** ・ ブレーキ液があふれ出したり、プラグカプラから吹き出すおそれがありますので、ブレーキ液を液面レベル下限まで減らすか、プラグカプラ上にウエスをかけ、エンジンルームを汚さないように注意して取り付けてください。

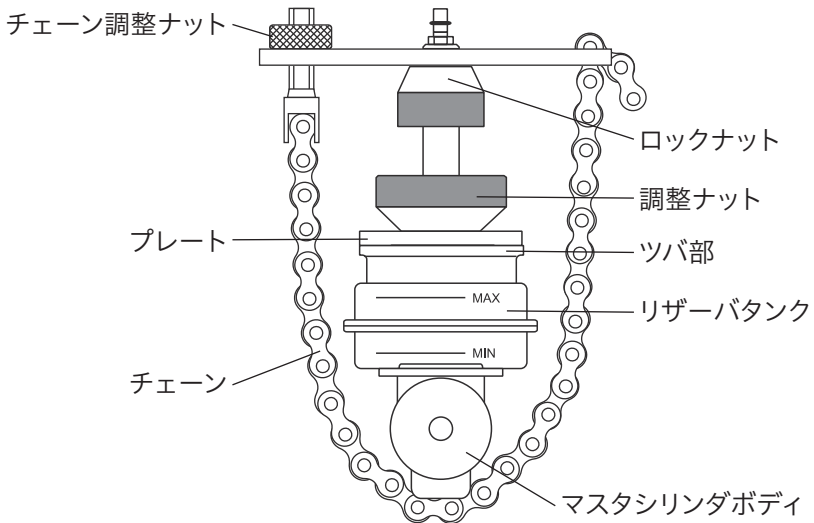


3. クランプE1をB1又はB2のロックナットの上へのせます。
マスタシリンダボディにチェーンを掛け、ロックナットを反時計回りに回してプレートのリザーバタンクツバ部に固定させます。



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ⊘ ・チェーンを掛ける際に付近の配線や配管等の部品と一緒に掛けないでください。部品を破損させるおそれがあります。
- ⊘ ・チェーンはマスタシリンダボディ下(金属部分)を通して掛けてください。リザーバタンクのみには掛けますとリザーバタンクを破損するおそれがあります。



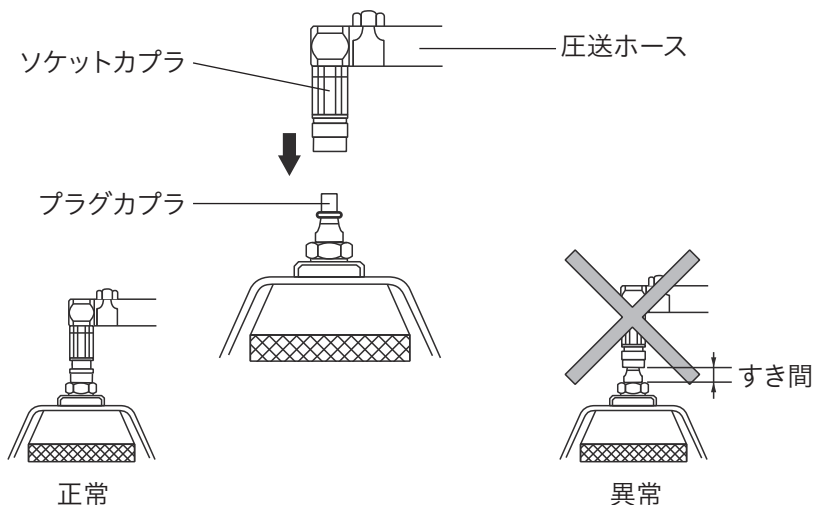
4. チェーン調整ナットをロックするまで時計回りに回し、チェーンを張ってください。

作業方法

1. アタッチメントをリザーバタンクに取り付けた後、圧送ホース先端のソケットカプラをアタッチメントのプラグカプラに取り付けます。

注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

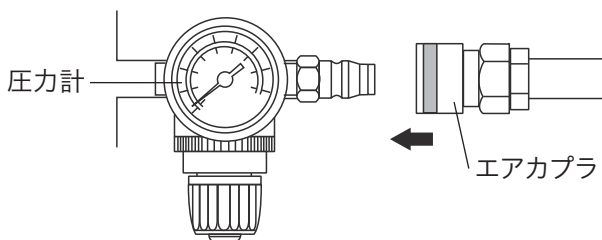
- ❗ ・カプラ同士はまっすぐに差し込んでください。斜めに差し込むと先にロックがかかってしまい取り付けできません。
- ❗ ・カプラが確実に取り付けられているか、ソケットカプラを軽く引っ張って確認してください。取り付けが不十分ですと圧送時にブレーキ液が飛散します。



2. 操作レバーが中立であることを確認し、エアカプラを本体に接続します。

注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ ・接続時には圧力計の針が0.3MPa程度の表示をしますが、圧送を始めると正常圧力になります。
- ❗ ・エアカプラがゴミ、ホコリ等で目詰まりしていないか確認してください。

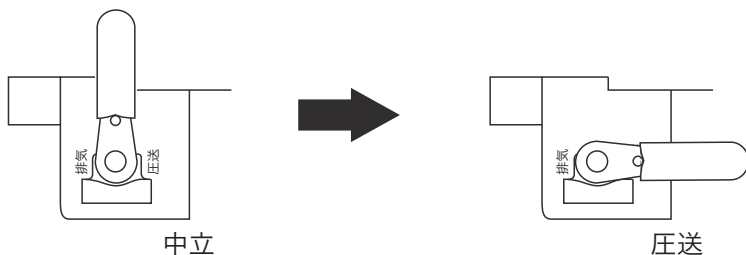


3. 操作レバーを圧送に切り替えてブレーキ液の圧送を開始します。
アタッチメントからブレーキ液が漏れないことを確認してから、キャリパーホイールシリンダ等のブリーダ操作をしてブレーキ液の交換、エア抜き作業を行ってください。

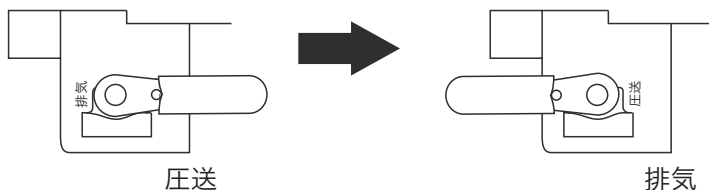


注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ ・アタッチメントの取り付けがゆるく、ブレーキ液のにじみ、漏れが発生した場合、操作レバーを排気に切り替え、残圧を抜き、アタッチメントを着けないでください。
- ❗ ・圧送時にアタッチメントのプレートが多少浮き上がることがありますが、にじみ、漏れが発生しなければ問題ありません。
- ❗ ・アタッチメントA1・B1・B2は加圧により内部にたまったエアが調整ナットねじ部から多少出ることがありますが問題ありません。



4. ブレーキ液交換、エア抜き作業が終了しましたら、操作レバーを排気に切り替えて、本体、圧送ホース内の残圧を抜いてください。



5. アタッチメントからソケットカプラを取り外し、リザーバタンクからアタッチメントを取り外します。エアカプラを取り外し、操作レバーを中立に戻し一連の作業を終了します。

! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

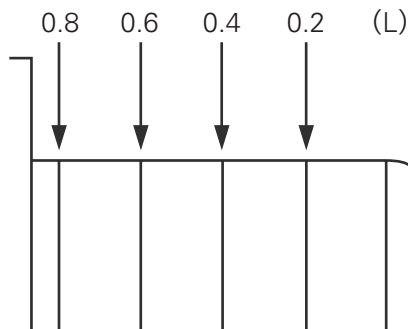
- ⊘** ・ 残圧抜きの排気音が止まる前に、ソケットカプラを取り外しますとブレーキ液が飛散します。
- !** ・ ソケットカプラ取り外し前に、リザーバタンクからアタッチメントを取り外しますと圧送ホース中のブレーキ液が漏れるおそれがあります。
- !** ・ 圧送作業後、車両のリザーバタンク液面レベル上限を超えている場合は各自動車メーカーの整備指示書に基づきレベルを調整してください。
- !** ・ 操作レバーを排気で放置されますと、バルブの故障や破損の原因となることがあります。

残量表示

本体タンク内のブレーキ液が1 L以下になると、残量表示窓にピストンの端が見えるようになります。残量表示窓にあるゲージは一目盛0.2 Lを表示します。

! **注意** 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- !** ・ 残量表示窓は圧送できるブレーキ液の残量を表示しますのでタンク内エア抜き前の状態では正しく表示しません。



残量表示窓

ブレーキ液の補充

A. 全容量を入れる場合 (全容量：2 L)

操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けてブレーキ液を注入します。(P7を参照してください)

B. 全容量 (2 L) 以下の場合 ⇒ **タンク内のエア抜きが必要です。**



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ エア抜きを行わないと、ブレーキ液にエアが混入します。
- ❗ ソケットカプラからアタッチメントを外してエア抜きを行ってください。取り付けられた状態で行いますとブレーキ液が吐出するおそれがあります。(ソケットカプラにはバルブが内蔵されていますので単体では吐出しません。)

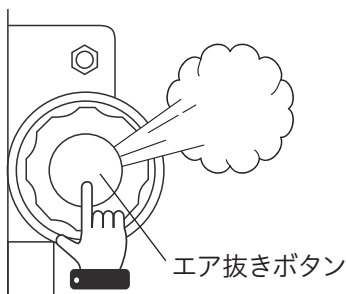
1. エアカプラを本体に接続し、操作レバーを中立から排気に切り替え、キャップを開けてブレーキ液を注入します。注入後キャップを締めこみます。



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。

- ❗ 水平な場所で注入を行ってください。
- ❗ 長期保管後は、ピストンの戻りが悪い場合がありますので、操作レバーを圧送にしてから排気に切り替えてください。
- ⊘ タンク内にゴミ、ホコリ、水等が入らないよう注意してください。
- ⊘ 圧力低下の原因となりますので、ゴムパッキンに傷をつけないでください。

2. 操作レバーを圧送に切り替え、キャップ上のエア抜きボタンを押し込みますとエア抜きボタン部からエアが抜け、ブレーキ液がキャップ上ににじんできます。エア抜きボタンを離せば本体のエア抜き作業終了です。



3. 操作レバーを排気に切り替え、タンク内の残圧を抜き、中立に戻して次の作業に移ってください。

保守・保管方法

- ・ 操作レバーは中立の状態でご保管してください。
- ・ 圧送ホース、ソケットカプラはきれいな布で汚れを拭き取り、ホースハンガーに巻いてご保管してください。
- ・ 本体はきれいな布で汚れを拭き取り、付属の本体カバーを掛けて、湿気の少ない場所にご保管してください。
- ・ アタッチメント、クランプはきれいな布でブレーキ液等を拭き取り、アタッチメントケースに収納してください。



注意 負傷または製品が損傷する原因になるおそれがあります。



・ アタッチメントA1・B1・B2は調整ナットを緩めすぎて拡張ゴムが自由長にならないように若干圧力がかかった状態でご保管してください。



・ アタッチメントからソケットカプラを取り外して収納してください。カプラを取り付けたままですと圧送ホース内のブレーキ液が漏れます。

- ・ ドレンプラグは定期的に取り外して点検し、ドレンが溜まっていれば排出してください。(ドレンプラグの締めすぎに注意してください。)
- ・ 圧送ホース、アタッチメントのプレートゴム、拡張ゴムは消耗します。表面にひび割れなどの劣化が見られるようになりましたら、補給部品(有償)と交換してください。

補給部品

品名	品番
アタッチメントA1	ABX70-A1
アタッチメントA2	ABX70-A2
アタッチメントB1	ABX70-B1
アタッチメントB2	ABX70-B2
クランプD1 (クロー式)	ABX70-D1
クランプE1 (チェーン式)	ABX70-E1
圧送ホース	ABX70-L1

品名	品番
キャップ	ABX70P-29
アタッチメントF1	ABX70-F1
アタッチメントF2	ABX70-F2
アタッチメントG1	ABX70-G1
アタッチメントG2	ABX70-G2
アタッチメントG3	ABX70-G3
アタッチメントH1	ABX70-H1

※アタッチメントF1、F2、G1、G2、G3、H1は別売りです。

アタッチメント適用表

- ・ マスタシリンダとリザーバタンクの取り付けがホースバンドで固定されているφ46以上の車種（ホンダ・ダイハツ系）については、クランプE1を使用してください。また、クランプE1が使用できる車種にはE1を使用してください。
- ・ ホンダ車のS-MX・ステップワゴン等はリザーバタンクの取り付けがはめ込み式に変わっているため、クランプD1が使用できます。
- ・ マスタシリンダにリザーバタンクがオフセットして取り付けられているφ46以上の車種（三菱系）は、クランプD1を推奨します。
- ・ リザーバタンクのツバ部がネジのみのφ46以上の車種は、クランプE1を推奨します。
- ・ 1BOX車等でマスタシリンダとリザーバタンクが分離している車種は、劣化等でホースから外れるおそれがあるため、注意してください。
- ・ マスタシリンダが1つ、リザーバタンクが2つについており、かつFとRが分配式に分かれている車種は、片方ずつ圧送すると使用できます。
- ・ ベンツや古いプレジデント等は、リザーバタンクにフロートレベルセンサー用キャップ等が付いており、加圧するとブレーキ液が漏れるおそれがあります。
- ・ VW・アウディ等はA1が適応します。ただし、リザーバタンクの給入口の外径がA1のゴムより大きいため、取り付け時はセンター合わせに注意してください。
- ・ F1・F2は締め付け途中で固くなる場合がありますが、締め切って使用してください。
- ・ G1・G2を使用する場合で、マスタシリンダとリザーバタンクの取り付けがホースバンドで固定されている車種には、G1・G2のシールキャップ Assy+E1を使用してください。
- ・ H1を使用する場合は、必ずE1で固定して使用してください。
- ・ A2・B1・B2のアタッチメントの拡張ゴムは、使用後必ず最縮状態（ゴムが圧縮していない状態）で保管してください。拡張した状態で保管すると、ゴムが最縮状態まで戻りにくくなり、ブレーキ液が漏れる原因となります。
- ・ トヨタ車のパワーアシスト付き（アリスト・プログレ等）ブレーキには、本製品（ABX70）の使用は不要です。トヨタ車のパワーアシスト付きブレーキはポンプ装置にて自動排出できるため、ペダリングも不要です。
- ・ 新型車・型式・年式等により適用が異なる場合がありますので、リザーバタンクへの使用アタッチメントが判断しにくい場合は、リザーバタンクの内径を測定して使用するアタッチメントを選択してください。

● トヨタ

車種	型式	内径	汎用	専用
bB	NCP31	φ42.5	-	G1
	QNC20	φ54	-	
MR2	AW11	φ56	B1+D1	-
MR-S	ZZW30	φ42.5	A2	G1
RAV4 (EV含む)	SXA10/10W/ 11+ACA21W	φ42.5	A2	G1
Will Vi	NCP19	φ42.5	-	G1
Will VS	ZZE127	φ42.5	A2	G1
アイリス	ANM10G	φ42.5	A2	G1
アリオン	NZT240	φ42.5	A2	G1
アリスト	JZS147/161	φ42.5	A2	G1
アルテッツァ	GXE-10	φ42.5	-	G1
アルファード	ANH10W	φ42.5	A2	G1
アルファードハイブリッド	ATH10W系 (2003/7～)	φ42.5	A2	G1
アレックス	NZE121	φ42.5	A2	G1

車種	型式	内径	汎用	専用
イスト	NCP65	φ42.5	A2	G1
イブサム	SXM10G+ACM21W	φ42.5	A2	G1
ウィッシュ	ZNE10	φ42.5	A2	G1
ヴィッツ	KSP90	φ42.5	A2	G1
ウィングダム	MCV20+VCV11	φ42.5	A2	G1
ヴェロッサ	JZX110	φ42.5	A2	G1
エスティマ	MCR30W A2	φ42.5	A2	G1
	TCR11/20G	φ23	A1	-
エスティマハイブリッド	AHR10W系 (2003/7～2006/5)			
	AHR20W系 (2006/6～)	φ42.5	A2	G1
オーパ	ZCT15	φ42.5	A2	G1
カムリグロシア	SXV25W	φ42.5	A2	G1
カリーナ・コロナ	ST202/190/210/ AT12	φ42.5	A2	G1

車種	型式	内径	汎用	専用
カリーナED	ST202・183	φ42.5	A2	G1
カリブ	AE111G/95G	φ42.5	A2	G1
カルディナ	ST191/215W	φ42.5	A2	G1
カレン	ST206	φ42.5	A2	G1
カローラ	AE110/101	φ42.5	A2	G1
カローラ フィルダー	ZZE123	φ42.5	A2	G1
キャミ	J100E	φ54	B1+D1	-
クラウン	GS130/ 131・MS137/ JZS143/ 149/ 151/ 155/ 171	φ42.5	A2	G1
クラウン マジエスタ	JZX149・UZS186系	φ42.5	A2	G1
グラント ハイエース	KCH16W	φ42.5	A2	G1
グランビア	RCH11・VCH10/ 16・KCH10/16	φ42.5	A2	G1
クーラー	ACV20	φ42.5	A2	G1
クーラー ハイブリッド	MHU28W系 (2005/3～)	φ42.5	A2	G1
クレスト	JZX101/90/81	φ42.5	A2	G1
コースター	HDB50	φ42.5	A2	G1
サイノス	EL5	φ70	B2+D1	-
スーパー	GA70・JZA80	φ42.5	A2	G1
スターレット	EP81/91	φ70	B2+D1	-
スパーク	S221E	φ34	A2	-
スパシオ	AE111N	φ42.5	A2	G1
スプリンター	AE101/81	φ42.5	A2	G1
セラ	EXY10	φ70	B2+D1	-
セリカ	ST185/202	φ42.5	A2	G1
セルシオ	UCF11/21/31	φ42.5	A2	G1
ソアラ	JZZ31・GZ20	φ42.5	A2	G1
ターセル・コルサ	EL51/45/41 (E1)	φ70	B2+D1	-
ダイナ	BU87	φ23	A1	-
タウンエース	CR30	φ23	A1	-
タウンエース トラック	YR28G・YM55	φ23	A1	-
チェイサー 1	JX100・GX100/81	φ42.5	A2	G1
トヨエース	LH80	φ42.5	A2	G1
トレノ	AE111/92 A2	φ42.5	A2	G1
ノア	SR40/50・CR40	φ42.5	A2	G1
ハイエース	LH119・KZH106	φ23	A1	-
	KDH200	φ42.5	A2	G1
ハイエース レジアス	RCH41W・KCH40W	φ42.5	A2	G1
ハイラックス	TRN215	φ42.5	A2	G1
ハイラックス サーフ	KZN・RZN185・ LN131V	φ42.5	A2	G1
ハリヤー	MCU10W	φ42.5	A2	G1
ハリヤー ハイブリッド	MHU38W系 (2005/3～)	φ42.5	A2	G1
ピスタ	SV41/40/32/20	φ42.5	A2	G1
ピスタアルデオ	SV50	φ42.5	A2	G1
ファンカーゴ	NCP25/20	φ42.5	-	G1
プラッツ	SCP11	φ42.5	-	G1
プリウス	NHW10/20/30	φ42.5	A2	G1
プロナード	MCX20A	φ42.5	A2	G1
ベルタ	KSP92	φ42.5	A2	G1
ボクシー	AZR60G・ZRR70G	φ42.5	A2	G1
ポルテ	NNP10	φ42.5	A2	G1

車種	型式	内径	汎用	専用
マークII	GX71 (後期)	φ42.5	A2	G1
	GX71 (前期)	φ56	B1+D1	-
マークIIワゴン	SVX25W	φ42.5	A2	G1
マークX	GRX120	φ42.5	A2	G1
ライトエース	YR21	φ23	A1	-
ラウム	EXZ10	φ42.5	A2	G1
ラッシュ	NCP100	φ42.5	A2	G1
ランドクルーザー	HDJ81V/ 101K・UZJ100	φ42.5	A2	G1
ランドクルーザー プラド	KZJ90W/VZJ121W	φ42.5	A2	G1
レビン	AE92	φ42.5	A2	G1
ルーミー	M900A/M910A	φ54	B1+D1	-

● レクサス

車種	型式	内径	汎用	専用
GS	UZS190・URS190系 (2005/7～)	φ42.5	A2	G1
GSハイブリッド	GW5191系 (2006/3～)	φ42.5	A2	G1
LS	USF40系 (2006/9～)	φ42.5	A2	G1
LSハイブリッド	UVF45/46系 (2007/4～)	φ42.5	A2	G1

● ニッサン

車種	型式	内径	汎用	専用
ADワゴン	WFY10	φ34	A2	-
アトラス	H41	φ24	A1	-
	AKR66EA	φ42.5	A2	-
アベニール	W10	φ34	A2	-
ウィングロード	WFY11・Y12	φ34	A2	-
エクストレイル	PNT30	φ24	A1	-
エスカルゴ	G20	φ63	B2+E1	-
エルブランド	AVWE50	φ24	A1	-
キャラバン	KRME24	φ24	A1	-
キューブ	BZ11	φ24	A1	-
	Z10	φ34	A2	-
サニー	SB14・B13	φ34	A2	-
	HB12	φ63	B2+E1	-
サニートラック	GB122	φ70	B2+E1	-
サファリ	WYY61	φ34	A2	-
シーマ	Y34/33/32	φ34	A2	-
セドリック・ グロリア				
シルビア	S14/15	φ34	A2	-
	S13	φ70	B2+E1	-
スカイライン	R34/83	φ34	A2	-
	R32	φ70	B2+E1	-
ステージア	WGN34	φ34	A2	-
セドリック	Y31	φ70	B2+E1	-
セフィーロ	A33/32・WPA32	φ34	A2	-
セフィーロワゴン				
セレナ	PC24/C25	φ24	A1	-
	KBC23	φ34	A2	-
ティーダ	C11	φ24	A1	-
ティーノ	HV10	φ34	A2	-
テラノ	YD21	φ70	B2+E1	-
パサラ	JHU30	φ24	A1	-
パネット	KHGNC22	φ24	A1	-

車種	型式	内径	汎用	専用
	SS28V	φ36	-	F1
バルサー・S-RV	FN15	φ34	A2	-
フェアレディZ	Z33	φ34	A2	-
	GCZ32	φ70	B2+E1	-
プリメーラ	P10・P11	φ34	A2	-
プリメーラワゴン				
プリメーラEV				
ブルーバード	EU13・U14	φ34	A2	-
	U11/12	φ70	B2+E1	-
ブルーバードシルフィ	QG10	φ34	A2	-
プレーリー EV	HM11・PM11	φ34	A2	-
プレーリー Joy				
プレサージュ	HU30	φ24	A1	-
プレジデント	H252	φ34	A2	-
プレセア	PR10	φ34	A2	-
マーチ	AK12	φ24	A1	-
	K11	φ34	A2	-
ラシーン	RFNB14	φ34	A2	-
ラルゴ	W30	φ34	A2	-
リパティ	PM12	φ24	A1	-
ルネッサ	NN30	φ34	A2	-
レガリス	JLR50・JRR30	φ34	A2	-
レパード	Y33	φ34	A2	-
ローレル	HC34・GC35	φ34	A2	-
	FNB12	φ63	B2+E1	-
	HC33	φ70	B2+E1	-

● ダイハツ

車種	型式	内径	汎用	専用
MAX	L950S	φ54	-	G3
アトレー	S130V	φ34	A2	-
	S80V/81V	φ60	B1+D1	F2
アプローズ	A101S	φ54	B1+E1	G3
シャレード	G200S	φ54	B1+E1	G3
テリオス	J100E	φ54	B1+D1	G3
デルタ	V57 ~	φ23	A1	
デルタワゴン	GR50	φ42.5	A2	
パイザー	G313G	φ60	B1+E1	-
ハイゼット	S100V/110P	φ34	A2	-
	S80V/82P/83V	φ60	B1+D1	F2
ミゼット	K100P	φ34	A2	-
ミラ	L500S/700S	φ54	B1+D1	G3
	200S・70V	φ54	B1+E1	-
	L250S	φ54	-	G3
ムーブ	L610S/602S	φ54	B1+E1	G3
	L150S	φ54	-	G3
ラガー	F76G	φ60	B1+E1	-
トール	M900S/M910S	φ54	B1+E1	G3
ブーン	M700S/M710S	φ54	B1+E1	G3

● いすゞ

車種	型式	内径	汎用	専用
エルフ	NPR6 ~	φ34	A2	-
	NKR ~	φ42.5	A2	-
ジェミニ	JT151F	φ67	B2+D1 (E1)	-
ビッグホーン	UBS69GW	φ54	B1+D1 (E1)	-
ファーフゴ	WFS6 ~	φ33	適用外	適用外
フォワード~	GIGA (4t ~ 10t)	φ49	適用外	適用外
ミュー	UCS69DW	φ54	B1+D1 (E1)	-

● 三菱

車種	型式	内径	汎用	専用
ekワゴン	H81W	φ34	A2	-
アウトランダー	CW5W	φ34	A2	-
GTO	Z16A	φ66	B2+D1	-
RVR・シャリオ	N23W/33W	φ66	B2+E1 (D1)	-
エアトレック	CU4W	φ34	A2	-
カリスマ	DA2A	φ66	B2+D1	-
ギャラン	EA1A・E33A/35A/52A	φ66	B2+D1	-
ギャラン	EC5A	φ66	B2+D1	-
キャンター	FE437E	φ34	A2	-
シャリオ	N84W	φ34	A2	-
グランディス				
チャレンジャー	K97W	φ66	B2+D1	-
ディアマンテ	F31A/17A	φ66	B2+D1	-
ディオ	CR9W	φ34	A2	-
ディンゴ	CQ2A	φ34	A2	-
デボネア	S12A	φ66	B2+D1	-
デリカ	P35W・P51V	φ18	A1	-
デリカスペースギア	PD8W	φ34	A2	-
トッポ	H31A/32V	φ58	B1+D1 (E1)	-
トッポ BJ	H46A	φ34	A2	-
バジェロ	V75W	φ34	A2	-
	V26WG/24WG	φ66	B2+D1	-
バジェロ Jr.	H57A	φ58	B1+D1 (E1)	-
バジェロミニ	H56A	φ58	B1+D1 (E1)	-
ミニカ	H22A	φ58	B1+D1 (E1)	-
ミニキャブ	U41V/41T/11V	φ34	A2	-
ミラージュ	CA1A・CJ2A	φ66	B2+D1	-
ランサー	CK4A	φ66	B2+D1	-
ランサーセディアワゴン	CS5W	φ34	A2	-
リベロ	CB5W	φ66	B2+E1 (D1)	-
レグナム	EA1W	φ66	B2+D1	-

● ホンダ

車種	型式	内径	汎用	専用
CR-V	RD1	φ 56	B1+E1	G2
	EF6	φ 56	B1+E1	G2
HR-V	GH3	φ 56	-	G2
NSX	NA1	φ 75	B2+E1	H1+E1
S-MX	RH1	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
		φ 56	B1+D1 (E1)	G2
Z	PA1	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
アコード	CF1	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
	CA3・CD4	φ 75	B2+E1	H1+E1
アスコット	CB1	φ 75	B2+E1	H1+E1
インスパイア・ ビガール	CB5	φ 75	B2+E1	H1+E1
インテグラ	DA5	φ 56	B1+E1	G2
	DC2	φ 75	B2+E1	H1+E1
エリシオン	RR3	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
オデッセイ	RA6/5	φ 56	-	G2
	RA2	φ 75	-	H1+E1
オルティア	EL3	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
キャバ	GA4	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
シビック	EK3/9	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
	EG8/4・EF2・AH	φ 56	B1+E1	G2
ステップワゴン	RF1	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
ステップワゴン	RP1, 2	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
ストリート・ アクティ	HH4/3	φ 56	-	G2
ストリーム	RN1 ~ 6			G2
セイバー	UA5	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
チェロキー	MX・R4	φ 30	A1	-
トゥデイ	JW3・JA4	φ 56	B1+E1	G2
トルネオ	CF4	φ 56	B1+D1 (E1)	G2
パモス	HM1/2	φ 34	A2	-
ビート	PP1	φ 75	B2+E1	H1+E1
プレリユード	BB6/5	φ 56	B1+D1 (E1)	G2のシー ルキャップ ASSY+E1
プレリユード	BA5	φ 75	B2+E1	H1+E1
ライフ	JA4	φ 56	B1+D1 (E1)	G2のシー ルキャップ ASSY+E1
ラグレイト	RL1	φ 56	-	G2のシー ルキャップ ASSY+E1
レジェンド	KA8/7/3	φ 56	B1+E1	G2のシー ルキャップ ASSY+E1
ロゴ	GA3	φ 56	B1+E1	G2のシー ルキャップ ASSY+E1

● スバル

車種	型式	内径	汎用	専用
インプレッサ	GC8・GC1・GF6	φ 34	A2	-
	GC8	φ 67	B2+D1 (E1)	-
ヴィヴィオ	KW3A・KK3	φ 60	B1+D1 (E1)	-
サンバー	KS3N・KR6・KV4	φ 34	A2	-
サンバーディアス		φ 34	A2	-
サンバー	KV4・KS4	φ 60	B1+D1	-
ドミンゴ	KJ8・FA7	φ 34	A2	-
フォレスター	SF5	φ 34	A2	-
ブレオ	RA1	φ 34	A2	-
レガシィ	BG5/6/9・BH5/BP5	φ 34	A2	-
	BG5・BF5・BD5	φ 67	B2+D1 (E1)	-

● スズキ

車種	型式	内径	汎用	専用
kei	HN11S	φ 34	A2	-
MRワゴン	MF21S	φ 34	A2	-
アルト	CN21S・HA11S	φ 34	A2	-
エスクード	TD52W	φ 60	B1+D1	-
	TD94	φ 34	A2	-
エブリイ	DA52W・DF51	φ 34	A2	-
カルタス	AB34S	φ 60	A2	-
SX4	TA41S	φ 34	A2	-
キャリー	DB51・DA41P	φ 34	A2	-
クレセント	GC41W	φ 34	A2	-
ジムニー	JA12W	φ 60	B1+D1	-
	JA51W	φ 67	B2+D1 (E1)	-
	JB23	φ 60	B1+D1	-
スイフト	HT51S	φ 34	A2	-
セルボ	CN22S	φ 34	A2	-
ワゴンR	CT21S/51S	φ 34	A2	-
ワゴンRワイド	MP61S	φ 34	A2	-

● マツダ

車種	型式	内径	汎用	専用
AZ-ワゴン	CY21S	φ34	A2	-
MPV	LY3P	φ36	A2	-
	LVLR	φ36	A2	F1
	LW5W	φ36	適用外	-
MS-8	MB5P・MBEP	φ36	A2	F1
RX-7	FC3S・FD3S	φ36	A2	F1
カベラ	GF8P・GW8W	φ36	A2	F1
	CG2PP・GV8W・GD8S	φ67	B2+E1	-
カベラワゴン	GW8W	φ36	A2	F1
キャロル	AA6PA	φ33	A2	-
スクラム	DL51V	φ34	A2	-
センティア	HD55/5S・HEEA	φ36	A2	F1
タイタン	WGT4H	φ27.5	A1	-
	(旧式)	φ36	-	F1
デミオ	DY5W	φ36	A2	F1
	DW5W	φ67	B2+E1	-
ファミリア	BHALP・BJ3・PBHA6R・BG6P・5P	φ36	A2	F1
ファミリアXG	MFY10	φ34	A2	-
フェスティバ	DA3PF	φ67	B2+E1	-
プレマシー	CP8W	φ36	A2	-
フレンディ	SGLW	φ36	A2	F1
プロシード	UF66M	φ36	A2	F1
ペルソナ	MASP	φ67	B2+E1	-
ポーターキャブ	PC567	φ27.5	A1	-
ボンゴ	SS88H・SSF8W・SD2AT	φ36	-	F1
ユーノス500	CA8PE	φ36	A2	F1
ユーノス800	TA5P	φ36	A2	F1
ランティス	CBA8P・CBAEP	φ36	A2	F1
ルーチェH	BEY・HCFS・HCSS	φ36	A2	F1
レーザー	BFSPF	φ67	B2+E1	-
ロードスター	NA6CE	φ67	B2+E1	-

● 輸入車

メーカー名	内径	車種	型式	汎用	専用
アウディ ^{※2}	φ30.5	80 2.0E	8CABK ~	A1	-
		2.3E	4AAAR		
		A6	4AAB ~		
オペル	φ32	アストラ	XD200 ~	A2	-
		ヴィータ現行車	BY9506		
クライスラー	φ32	ダッジ・アペンジャール	ABA-JSD27	A2	-
		ダッジ・キャリバー	ABA-PM20		
		JEEP・ラングラー	ABA-JK38S		
サターン	φ36	セダン・クーペSL ~		A2	-
		シトロエン	VF72AZ	A2	-
フィアット	φ36	プント	ZFA1880 ~	A2	-
フォード	φ32	KA	WFOBX ~	A2	-
		ディスカバリー	LJ ~		
ブジョー	φ34	406	B-2343	A2	-
			DVF37CRFSW ~		
ボルボ	φ63	V70シリーズ	B2+D1	-	
メルセデスベンツ	φ32	E280	E-12402Z	A2	-
		E210/202	E-12408 ~		
		V12	E-1400 ~		
			WDB ~		
ルノー	φ36	メガーヌ※1	A2	-	
		ルーテシア	ABA-RK4M		
ローバー	φ33	ミニクーパー		A2	-
		200	XW ~		
BMW	φ32	BMW	E-325・318ti	A2	-
GM	φ32	キャデラック	E-AE ~	A2	-
VW ^{※2}	φ32	ゴルフ	1HADZ	A1	-
		ポロ	現行車		

※1：バッテリーカバー取外しが必要です。

※2：アウディ・VW等はA1の適用ですが、リザーパタンの給油口外径がA1のゴムより大きいので、取り付け時センター合わせに注意してください。

● その他大型トラック

メーカー名	内径	車種	汎用	専用
日野	φ32	4t系レンジャー	A2	-
UD	φ92	10t系スーパードルフィン	適用外	
ふそう	φ80	4t ~ 10t コンドル~ビッグサム	適用外	
		旧車	適用外	
	φ95	4t ~ 10t ファイター~スーパーグレー	適用外	



最新の適用表は、左のQRコード*から、弊社Webサイトにてご確認いただけます。

(<https://ktc.jp/catalog/index-category/category-list/abx70>)

*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

京都機械工具株式会社

〒613-0034

京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

お客様窓口 TEL 0774 46 4159 FAX 0774 46 4359

電話受付時間 10:00-12:00 13:00-16:00

土・日・祝日および弊社休業日は除く

T51003-2

MADE IN CHINA



※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

ktc.jp